

(工学研究科)

公益財団法人帝人奨学会

「第 70 回(2022 年度)帝人久村奨学生(博士課程)」の募集

2021.8.18

1 応募資格

- 1) 2021 年 10 月または 2022 年 4 月に博士後期課程に進学することが決定している、または見込まれている者。
- 2) 私費外国人留学生(在留資格「留学」)である者。
- 3) 申請時点又は学籍発生時点で日本国内に滞在していることが確実であること。

2 援助の金額、援助の期間

月額：6 万円 期間：2022 年 4 月から正規の博士後期課程修了まで

3 推薦人数

工学研究科から1名、その後大学全体の選考を経て、大学から1名が推薦される。

4 提出書類

1. 志願者調書 (所定用紙、写真貼付、自筆、英語可)
2. 推薦調書 (所定用紙、指導教員により作成のこと、推薦決定後提出可)
3. 個人情報の取り扱いに関する同意書(所定用紙、本人自署)
4. 在学証明書、合格証明書、入学許可書等の入学の内定を証明できる書類。
5. 成績証明書 (前課程および直近のもの)
※ 別紙の成績評価係数算出方法を参照上、算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること。
6. 現在の研究概要 (任意様式、英語可、A4 用紙 2～3 枚)
7. 在留カードの写し(両面)
8. 経済状況調書 (所定用紙、2021 年 9 月 1 日現在)
9. 私費外国人留学生身上書 (所定用紙)
10. 家計状況申告書 (所定用紙)

5 財団ホームページ (所定用紙をダウンロード可)

<http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

6 申請書類提出先

工学研究科教務課国際交流係

7 締切日

2021 年9月 1 日(水)

他の併給不可の奨学金について、すでに受給が決定している者、および申請中(直接応募含む)の者は選考対象外となります。

帝人久村

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

奨学生募集

Teijin Kumura Scholarship

熱意をもって研究に取り組む大学院生を応援します！

本奨学金の 特色

- 修士は8万円／月、博士は10万円／月を貸与します(無利子)。
- 外国人留学生の場合は、修士5万円／月、博士6万円／月を給付します。
- 修士課程の帝人久村奨学生は博士課程の選考が一部免除となります。(給付は対象外)
- 卒業後の進路によって、**返還免除制度**があります。
- 本奨学金は経済的困窮度よりも、**成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視**します。
- 他奨学金との併給も可能です。
- 在学中に海外へ留学する場合も貸与・給付を継続します。

応募締切

2022 年度博士課程

2021 年 **9月28日(火)**

必着

※2022 年度修士課程は
2022 年 1 月～3 月に
募集する予定です。

対象者

- 医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している方
- 2021 年秋(9月、10月)または
2022 年4月に博士課程に進学することが決定している、または見込まれている方

募集要項等詳細は、各大学の奨学金窓口もしくは公益財団法人帝人奨学会までお気軽にお問い合わせ下さい。

若き科学技術者の育成を行う

公益財団法人 帝人奨学会

🌐 <https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

☎ 03-3506-4424

✉ kumura@teijin.co.jp

帝人 奨学会



※フリーメールアドレスを使用される場合は、HP のお問い合わせページからご連絡ください。



第70回 (2022年度)
帝人久村奨学生 募集要項 [博士課程]

2022

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

本奨学金の特色

- 1) 博士課程10万円／月を貸与（他奨学金との併給が可能）
外国人留学生の場合は、6万円／月を給付。
- 2) 卒業後、帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。
- 3) 修士課程の帝人久村奨学生が引き続き博士課程でも帝人久村奨学金の貸与を希望する場合は、選考過程の一部が免除となります。（給付は対象外）
- 4) 本奨学金は、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視します。
- 5) 本奨学金を受給したことによる帝人グループ各社への入社等その他の付帯義務はありません。
- 6) 在学中に海外へ留学する場合は、正規の修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

募集要項

1. 応募資格

医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等に在籍している学生で次の条件に該当し、学部長又は学科主任教授の推薦を受け、かつ学校推薦を受けた者。

●2021年秋(9月、10月)または2022年4月に国内大学の博士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生(外国人留学生も可)

*現在在学している大学から、他の大学院へ進学する場合は原則として現在の大学から応募してください。
*外国人留学生の場合は、留学予定先の国内大学から応募してください。

2. 採用人員

10名程度(1名程度を外国人留学生(給付)とする)

3. 採用基準

本奨学金では、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視して選考します。

4. 選考方法

(1) 第1次選考
書類選考

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対して、次の系列毎の専門面接により選考します。

- 医学・薬学・バイオ学系(医学、薬学、生物、環境等)
- 理学系(化学、物理、材料等)
- 工学系(電気・電子工学、機械、建築等)
- 情報学系(情報システム、電子システム等)

(3) 最終選考

第2次選考合格者に対して、当選選考委員による面接を実施し、奨学生を決定します。

5. 選考スケジュール

(1) 博士課程進学予定者

選考方法	日程	場所
2次面接	11月上旬～中旬に実施	帝人(株)東京本社内
最終面接	12月13日(月)に実施	帝人(株)東京本社内

※選考日時・場所等の詳細については、受験者宛に別途ご案内します。
※新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの面接等に変更となる場合がございます。
※面接時の交通費は国内移動分のみ全額支給します。

(2) 2022年度修士課程進学予定者については
2022年1月～3月頃に募集致します。

6. 提出書類(応募書類は当会HPからダウンロード可)

- (1) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生志願者調査書(所定用紙、写真貼付): 志願者本人が作成するもの。
- (2) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生推薦調査書(所定用紙): 指導教授に作成いただくもの。
- (3) 学業成績証明書(直近のもの)
- (4) 現在の研究概要をA4判2～3枚に簡潔にまとめたもの1部(文字サイズは11ポイント以上、カラー不可)

- (5) 個人情報の取扱いに関する同意書(所定用紙): 志願者本人が自署したもの。
- (6) 在留資格認定証明書(在留カード等)
※外国人留学生のみ
※2022年度募集より健康診断書の提出は不要となりました。

7. 提出締切日

2021年9月28日(火) 必着

8. 最終合否の決定

2021年12月下旬までに最終的な合否結果を大学宛に文書で連絡します。
志願者本人にはEメールでご連絡します。

9. 奨学金の取扱い概要

(1) 貸与または給付期間

2022年4月から正規の博士課程修了月までとします。
※在学中に海外留学する場合は、正規の博士課程修業期間を上限として貸与・給付を継続します。

(2) 奨学金貸与額または給付額

①貸与額

2022年度募集 100,000円/月(博士課程)

②給付額(外国人留学生)

2022年度募集 60,000円/月(博士課程)

※本誌第1項応募資格で規定する資格保有者で且つ日本国への外国人留学生は「給付」とします。尚、当会が定める外国人留学生とは、出入国管理及び難民法における「留学」に該当する者を指します。

(3) 貸与または給付開始月

2022年4月から開始

※2021年秋(9月、10月)入学者も同様です。

(4) 貸与または給付方法

奨学生指定の金融機関の個人口座に偶数月初旬に貸与額の2ヶ月分を振込みます。

(5) 貸与金の返還

ア. 当会指定の大学研究機関等(独立行政法人日本学生支援機構が指定した機関に準じます)で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還を免除します。※所定期間: 貸与期間の2倍の期間

イ. 上記ア. 以外の場合には、貸与期間終了6ヶ月後から奨学金貸与月数の5倍の期間以内に半年賦で返還いただきます。但し、貸与金は無利子とします。

(6) その他

ア. 他の奨学金との併給が可能です。

イ. 帝人グループへの入社等その他の付帯義務はありません。

ウ. HPに掲載されている先輩帝人奨学生からのメッセージやFAQもぜひご覧いただき、応募の参考としてください。

公益財団法人帝人奨学会概要



帝人奨学会創業者
久村 清太氏
(1880-1951)

公益財団法人帝人奨学会は、1953年6月の帝人株式会社創立35周年を記念した「帝人奨学会久村奨学生制度」を端緒として発足しました。翌1954年、この制度の一層の発展を期すため、奨学金事業を主事業として、財団法人帝人奨学会を設立しました。その後2011年に内閣総理大臣の認可を得て「公益財団法人帝人奨学会」に改組し今日に至っております。

帝人奨学会の目的は、人造絹糸(レーヨン)の製造技術を独自に確立し、「日本化繊工業の父」と呼ばれた久村清太氏の功績を讃えて、独創的な研究開発の精神を継承発展させるとともに、国家・社会の発展と文化創造に貢献する「若き科学技術者を育成する」ことにあります。

創立以来この制度を貫く本質的な精神は変わっておりません。本制度は一企業のためではなく、国家社会の発展を担う人材育成を主眼にしております。このため、卒業後、大学や公的な研究機関で研究に従事する場合は、奨学金の返還を免除しています。また、将来の科学技術を担う研究者を育成するために、経済的な条件等を問わず学業優秀であれば奨学金の貸与を認めております。更に、本制度は発足以来、帝人株式会社への入社等の義務的拘束は一切設けておらず、公益財団法人の本質を堅持しております。

これまでに、ノーベル化学賞受賞者など1,600名以上の方が大学研究機関や民間企業で活躍されています。

1. 沿革

1953年(昭和28年)6月

帝人株式会社創立35周年事業として、育英制度を設立。

1954年(昭和29年)7月

文部大臣の許可を得て、財団法人帝人奨学会が発足。

2011年(平成23年)10月

内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人へ移行

2. 目的

科学技術者としての自己の使命を自覚し、国家・社会の発展と文化創造の担い手となる人材の育成を目的とする。

3. 帝人久村奨学金及び帝人久村奨学生命名の由来

日本で初めて化学繊維(レーヨン)の製造技術を確立し、その後の化繊工業の発展の礎を築いた、久村清太氏の功績を讃え、その偉業を永く後世に伝えるため、当会の奨学金を「久村奨学金」及び奨学生を「久村奨学生」と命名し、50周年を機に「帝人久村奨学生」、「帝人久村奨学金」と改めました。

4. 事業内容

技術系大学院生に対する帝人久村奨学金の貸与・給付。

5. 奨学生の実績

累計奨学生数：第1回(1953年)より第69回(2021年)

までの帝人久村奨学生1,689名

6. 役員 <50音順>

理事長

鈴木 純(帝人株式会社)

理事

伊藤 大雄(電気通信大学大学院教授)

(選考委員兼務)

太田 茂(広島大学名誉教授)

大田 治彦(九州大学名誉教授)

(選考委員兼務)

監事

嶋井 正典(帝人株式会社)

高原 淳(九州大学名誉教授)

評議員

岩澤 伸治(東京工業大学大学院教授)

小山 俊也(帝人株式会社)

澤本 光男(京都大学名誉教授)

庭野 道夫(東北大学名誉教授)

選考委員

相田 卓三(理化学研究所 創発物性科学研究センター 副センター長)

片岡 健一郎(帝人株式会社)

唐澤 利武(帝人株式会社)

小林 資正(大阪大学名誉教授)

(2021年7月1日現在)

『若者よ海外へ出よ!』

～ノーベル化学賞 受賞(2010年)米パデュー大学 根岸 英一 特別教授からのメッセージ～

1958年に私が帝人に入社したころ、当時の大屋晋三社長は「若者よ海外へ出ろ。10年に1ヶ国語ずつ学べば、30年で3ヶ国語が話せるようになる。そうすれば君たちも世界で通用するようになる」と仰っていました。私がこのような道を歩むことができた原点は、この大屋社長の言葉にあります。

私の専門である化学のコンペティション(競争)の場は世界であり、いまや我々のプレーグラウンドは世界です。また学ぶための師も世界単位で探し、世界の競争の中でトップになることを目指す時代です。そういう意味で、皆さんのような若者には、積極的に海外へ出て頂きたいと思います。

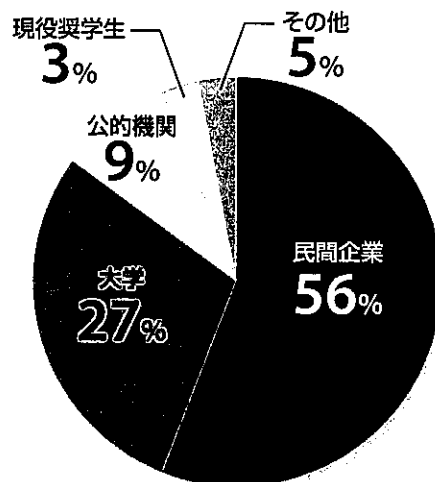
そして自らの「夢」を見つけたら真理を突き詰めるまで、とことんチャレンジしてください。今後の皆さんの大いなる活躍に期待しています。



米パデュー大学
根岸 英一特別教授
(帝人グループ名誉フェロー)
帝人久村奨学生第5回生(1957年)

<2013年11月ご寄稿>

帝人久村奨学生データ



帝人久村奨学生総数 **1,689**名

現役帝人久村奨学生 **48**名

(2021年7月1日時点)

帝人グループについて

帝人グループは、1918年に日本初のレーヨンメーカーとして発足し、100年以上にわたり、絶え間なく企業変革を続けてきました。そして、現在は「マテリアル」「ヘルスケア」「IT」という3つの異なる領域で事業を展開するユニークな企業体として、「環境価値」「安心・安全・防災」「少子高齢化・健康志向」の3つのソリューションで、持続可能な社会の実現に貢献していこうとしています。

企業が期待される役割、社会に果たすべき責任は大きく変わってきています。こうした中で帝人グループは、テクノロジーの進化により急速に変容していく未来の社会を先取りし、常に新たな価値を創り続けることにより、社会の進化をもたらすソリューションを提供する変革者であること、人々の「Quality of Life」の向上に貢献する先駆者となることを目指します。そして、新たな価値の創造をさらに加速していくために、価値観・経験の異なる多様な人材が一層能力を発揮できるようダイバーシティ&インクルージョンを推進します。

帝人グループには、創立当初から脈々と受け継いできたチャレンジングなDNAが備わっています。帝人グループは「人を中心に考える企業」として、これからも「たゆまぬ変革と挑戦」を続け、「未来の社会を支える会社」を目指していきます。

帝人株式会社概要

創 立 …… 1918年6月
代 表 者 …… 代表取締役社長執行役員 鈴木 純
資 本 金 …… 718億円 (2021年3月)
売 上 高 …… 連結：8,365億円 (2021年3月)
営 業 利 益 …… 連結：549億円 (2021年3月)
従 業 員 数 …… 連結：21,059名 (2021年3月)
主要事業内容 …… マテリアル事業、ヘルスケア事業、IT事業

URL: <https://www.teijin.co.jp>

公益財団法人帝人奨学会

応募書類送付先及びお問い合わせ先

公益財団法人帝人奨学会

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1
霞が関コモンゲート西館

HPのQRコードは
こちら



TEL: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp
<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

※フリーメールアドレスを使用されている場合は、HPのお問い合わせページからご連絡ください。



70th

Teijin Kumura Scholar Application Guide (Doctor's Course)

2022

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

Feature of this scholarship

- a) Japanese students: ¥100,000/month(Doctor's Course)
you can receive other Scholarship.
- b) Non-Japanese students: ¥60,000/month(Doctor's Course)
No need Scholarship repayments for foreign students.
- c) Teijin Kumura Scholarship Students in a master's course who wish to continue to receive Teijin Kumura Scholarship to be lent in a doctor's course, as well, will be exempted from a part of the screening process.
(No exemption for granting.)
- d) We select a Scholarship student with grade and research level.
- e) Not obligated to join Teijin Limited.
- f) If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period.

Teijin Scholarship Foundation

Application Guide

1. Qualification Requirements

- (1) The applicant must be a student in a medical /pharmaceutical / bioscience, science, engineering or information science related course at a domestic university.
- (2) Fulfill the following conditions, receive the recommendation of a faculty head or senior faculty professor and the recommendation of a school.
- (3) Students who have decided to study in a Doctor's course from September/October 2021 or April 2022. (Foreign students may also apply.)

* When you will transfer to another university, please apply from the domestic university that you currently belong to.

2. Number of Scholarship Recipients

Doctor's course: 10

* Among these, about one person is a foreign student.

3. Selection Criteria

We select a scholarship student with grade and research level.

4. Selection Method

- (1) Preliminary selection
Screening of application materials
- (2) Secondary selection
Applicants who pass the preliminary selection will be screened in specialized interview.
 - Medical / pharmaceutical / Bioscience
(Medical, Pharmaceutical, biology, environmental science, etc)
 - Science (chemistry, physics, material, science, etc)
 - Engineering (electrical/ electronic engineering, machine engineering, architecture, etc)
 - Information science (information systems, electronic systems, etc)
- (3) Final selection
The foundation's selection committee will interview applicants who pass the secondary selection to determine the scholarship recipients.

5. Selection Schedule

Selection method	Schedule	Location
Secondary selection	Early to mid November	Teijin Limited (Tokyo HQ)
Final selection	December 13th	Teijin Limited (Tokyo HQ)

*Details of selection dates and locations, etc, will be announced separately to applicants.

*The interview may be changed to web interview due to the influence of coronavirus.

*Travel expenses for interviews will be fully reimbursed only for domestic transportation in Japan.

* Students who are planning to study in a Master's course will be received in January-March 2022.

6. Documents Submitted (Application form can be download from Our Website)

- (1) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Applicant's Statement (Use the designated form; attach a photograph); Submit a form signed by the applicant in person

- (2) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Recommendation Statement (Use the designated form): Submit a form created by the supervising professor
- (3) Evidence of academic achievements (Latest copy)
- (4) 1 copy of a concise summary of 2-3 A4 pages of your current research brief (It must be character size 11 or more, and monochrome copies)
- (5) Written consent for the handling of personal information (Use the designated form): Submit a form signed by the applicant in person
- (6) Certificate of Eligibility (only foreign students)
*It's not necessary to submit a health certificate from this year.

7. Deadline for Application

Application submission should reach by September 28th, 2021 (Tue).

8. Final Decision

The written notice of results for the Final selection process will be sent to university by End of December 2021.

The results will also be sent by email to the applicant.

9. Overview of Scholarship Handling

- (1) Loan period
The loan period is the regular period from April 2022 to the completion of the Doctor's course.
* If students study abroad while being enrolled at Japanese graduate schools, the Scholarship will be lent or granted up to the regular period of Doctor's course.
- (2) Value of scholarship and scholarship loan
 - ① Value of scholarship (foreign students)
The 2022 fiscal year ¥60,000/month
(No need Scholarship repayments for foreign students)
 - ② Value of scholarship loan
The 2022 fiscal year ¥100,000/month
- (3) Commencement of loan
From April 2022
* The 2021 fall-admissions person is also the same.
- (4) Loan method
The scholarship loan for 2-months is transferred into the scholarship recipient's personal account at a financial institution at the start of each even-numbered month.
- (5) Loan repayments

a) Scholarship recipients are excused from repayment if they engage in scientific research activities for a designated period at a university research organization, where designated by the foundation (corresponding to the organizations designated by Japan Student Services Organization).

b) In cases other than those described in a) above, the loan is to be repaid in half-yearly installments in a period less than 5 times the number of months of the scholarship loan period, it starting from 6 months after the completion of the loan period. However, the loan is interest free.

- (6) Other
 - a) We accept that you receive other scholarship.
 - b) Not obligated to join Teijin Limited.

Overview of the Teijin Scholarship Foundation



Teijin Ltd. Founder.
Seita Kumura
(1880-1951)

The Teijin Kumura Scholarship system was started to commemorate the 35th anniversary of Teijin Limited's founding in 1953 and to honor the achievements of Seita Kumura, who established rayon manufacturing technology in its own right and is known as the "father of the Japanese rayon industry". The purpose of this Scholarship system is to cultivate young engineers and scientists who would succeed to and develop Mr. Kumura's spirit of creative R&D and contribute to the development of our nation and society and the creation of culture. In July 1954, the company established the foundation "the Teijin Scholarship Foundation" for the scholarship system in order for the further development of the system. With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister in October 2011.

The essential spirit that has permeated the system since its establishment has not changed. The system is not run for the sake of one company and takes as its central aim the cultivation of the human resources that will be responsible for the development of national society.

Because of this aim, recipients of scholarship loans are excused from repayment if they are involved in research at a university or public laboratory after graduation. In addition, scholarship loans are recognized if an applicant has done well at school, irrespective of economic conditions, etc., in order to cultivate the researchers who will be responsible for the science and technology of the future.

Furthermore, since its founding, this system has never set mandatory restraints and has firmly maintained the essential qualities of the foundation. Until this point, about 1,600 people have been active in university research organizations and private companies.

1. History

June 1953

Teijin Limited established an educational scholarship system as a project to commemorate the 35th anniversary of the establishment of the company.

July 1954

The Education Minister permitted Teijin Limited to establish the Teijin Scholarship Foundation. The foundation continues to the present day.

October 2011

With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister.

2. Aim

The foundation aims to cultivate human resources who will become aware of their mission as scientists and engineers and be responsible for the development of our nation and society and the creation of culture.

3. The Origins of the Names "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholar"

The scholarship awarded by the foundation was named the "Kumura Scholarship" and the recipients of the scholarship "Kumura Scholars" in order to honor the achievements of Seita Kumura, who was the first person in Japan to establish rayon manufacturing technology and subsequently built the foundations for the development of the rayon industry, and to communicate those achievements eternally to later generations. To mark the 50th anniversary of this scholarship system, they have been renamed the "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholars" respectively.

4. Project Details

Teijin Kumura Scholarship loans are awarded to graduate school students in technology-related disciplines.

5. The total number of scholarship recipients

1,689 Teijin Kumura Scholars from the first year of the program (1953) to the 69th (2021).

6. Executive <Japanese syllabary order>

President

Jun Suzuki (Teijin Limited)

Directors

Hiro Ito (Professor, University of Electro-Communications)

*Directors and Selection Committee

Shigeru Ohta (Honorary Professor, Hiroshima University)

Haruhiko Ohta (Honorary Professor, Kyushu University)

*Directors and Selection Committee

Auditors

Masanori Shimai (Teijin Limited)

Atsushi Takahara (Honorary Professor, Kyushu University)

Councillors

Nobuharu Iwasawa (Professor, Tokyo Institute of Technology)

Toshiya Koyama (Teijin Limited)

Mitsuo Sawamoto (Honorary Professor, Kyoto University)

Michio Niwano (Honorary Professor, Tohoku University)

Selection Committee

Takuzo Aida (Deputy Director, RIKEN Center for Emergent Matter Science)

Ken-ichiro Kataoka (Teijin Limited)

Toshitake Karasawa (Teijin Limited)

Motomasa Kobayashi (Honorary Professor, Osaka University)

(As of July 2021)

"Young people go overseas!"

~ Message from a Nobel Prize Laureate in Chemistry (2010) Dr. Ei-ichi Negishi ~

When I joined Teijin in 1958, Shinzo Oya the president at that time told, "Young people must go overseas. You will be able to speak three languages in 30 years, if you learn one language in 10 years. Then you will become world-class talent." The starting point that I was able to walk on such a way is in the word of President Oya.

In the field of chemistry, the competition is worldwide, and our playground has extended across the world. Now, you have to look for the professor from the world and aim for the top in the worldwide competition. For the young people like you, I suggest you to go overseas aggressively.

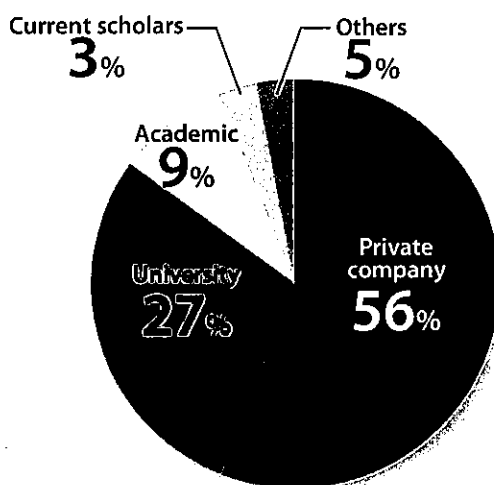
When you find your own "Dream", please challenge it thoroughly until the truth is investigated. I look forward to your great success in the future.

*This message was contributed in November 2013.



Purdue University
Distinguished Professor
Mr. Ei-ichi Negishi
(Teijin Group Distinguished Fellow)
5th year Teijin Kumura scholarship (1957)

TeijinKumura Scholar Data



Total number of Teijin kumura Scholars **1,689**

Current Teijin kumura Scholars **48**

(As of July 2021)

About Teijin Group

Since its establishment in 1918 as Japan's first rayon manufacturer, the Teijin Group has ceaselessly transformed itself for over 100 years. As a unique enterprise that combines three different business domains of materials, healthcare and IT, we are working towards the realization of a sustainable society by delivering solutions in the three fields of environmental value, safety, security and disaster mitigation, and demographic change and increased health consciousness.

The roles companies are expected to fulfill and the responsibilities they have to society are changing significantly. Amidst these circumstances, we are striving to anticipate the ways in which future society will rapidly transform from the evolution of technology. By constantly creating new value, we aim to become an innovator that provides solutions which encourage the development of society, and a pioneer that contributes to enhancing the quality of life. In order to further accelerate the creation of new value, we will promote diversity and inclusion so that our global employees with different values and experiences can demonstrate even greater ability.

A spirit of venture has been strongly rooted in the DNA of the Teijin Group ever since our founding. As a people-focused company, we will continue to pursue ceaseless evolution and ambition, and aim to become a company that supports the society of the future.

Overview of Teijin Limited

Established	June 1918
Representative	Jun Suzuki, President and CEO
Capital	71.8 billion yen (March 2021)
Sales	Consolidated: 836.5 billion yen (March 2021)
Operating profit	Consolidated: 54.9 billion yen (March 2021)
Number of employees	Consolidated: 21,059 (March 2021)
Description of main business	Materials business, Healthcare business, IT

URL: <https://www.teijin.co.jp>

HP QR Code



Teijin Scholarship Foundation

Direct scholarship application documents and inquiries to:
 Teijin Scholarship Foundation
 2-1, Kasumigaseki 3-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8585
 Tel: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp
<https://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/>

*When using free email addresses, contact us via the inquiry page on our website.

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
- ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
- ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
- ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
- ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
- ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
- ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
- ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

Tips on Applying for Scholarships

Education and Student Support Department

Student Exchange Division

International Education Section

2019.02.01

1. Before applying

- Read the application guidelines carefully to determine whether or not you meet the requirements. Be sure to take note of any obligations for scholarship recipients in addition to the application requirements and details of the award. (E.g. mandatory attendance at conferral ceremonies and exchange events, submission of periodic assignments to the scholarship organization, etc.)
- Make sure you have all the required documents on hand. In particular, many students forget to submit academic transcripts from their previous curricula.
- If you have applied to other scholarship organizations via either university recommendation or direct application, you cannot apply for any further scholarships, even if you do not yet know the results of your other applications. (Except in cases where both scholarships permit receipt of multiple scholarships at the same time.)
- Screening methods vary depending on the organization. If there is an interview, note the travel expenses, location, date/time etc., and be sure you will be able to attend.

2. Application documents

- Do not reuse documents from previous applications, even if you are applying to extend a current scholarship. Always prepare new documents.
- Do not use erasable pen (e.g. Frixion); always fill out application forms with a black ballpoint pen. (Application documents written in erasable pen cannot be submitted to the scholarship organization.)
- During the screening process, your application documents will greatly influence the impression you give. Fill out all forms neatly so that they are easy for the evaluators to read.
- If you make a mistake, do not use corrective tape/fluid or cross out the mistakes. Prepare a new form instead.
- Do not abbreviate your undergraduate/graduate school's name; enter the full name.
- Be sure to read and follow all notes and instructions on filling out the forms.
- As a matter of courtesy, fill in at least 70-80% of the space provided for each short-answer/essay question.
- After you have finished, double check your application to make sure that no items are blank. In particular, enter answers even for items not applicable to you, e.g. "None" (or "0" for amounts) etc.
- *If outputting data from Excel, check to make sure all characters fit within the provided spaces.

3. Other

- If you have any questions about the application requirements or how to fill out the forms, please inquire with the person who handles scholarships for your department. Do not try to individually contact the scholarship organization.
- Note that recipients of the President Fellowship or other scholarships that pay tuition may not be able to apply for a tuition exemption for the duration of that scholarship. Be sure to check with the person who handles scholarships for your department.
- If you plan to apply for a scholarship directly (without going through the university), or to extend a scholarship, you must contact the person who handles scholarships for your department and inform them beforehand.

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

〔成績評価係数の算出方法〕（小数点第三位を四捨五入）

	成 績 評 価				
4段階評価（パターン1）		優	良	可	不可
4段階評価（パターン2）		A	B	C	F
4段階評価（パターン3）		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

〔計算式〕

（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）

+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0）

総登録単位数

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

*2021年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身 分	学部 年 MC 年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号		
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏 名	(漢字)			既婚・未婚	
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国 籍		
東北大学 入学前の 在籍大学		年 月 卒業・修了			
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分	在籍期間			
		年 月 ~ 現在			
		年 月 ~ 年 月			
住 居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山 国際交流会館三条第一会館 ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ) 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス片平 ユニバーシティ・ハウス長町 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート(住所)				

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏 名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*2021年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在 籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏 名				

家計状況

* 2020年4月から2021年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2020年10月入学の方は、2020年10月から2021年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り ・ 無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2021年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2020年度	後期	全額免除	半額免除		-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除		-	申請したが不許可だった
2019年度	後期	全額免除	半額免除		-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除		-	申請したが不許可だった

*This form does not need to be submitted, if you have submitted anytime in **April 2021** or thereafter.

Personal Information Form for Privately-Funded International Students

1. Information of yourself

Status	Undergrad. (year: ____) / Undergrad. research student Master's Course (year: __) / Doctoral Course (year: ____) / Grad. Research student		Student ID No.	
Department and Major		Supervisor	Phone (Lab.)	
Name	(Chinese characters: _____)			Married/Single
Date of birth	_____/month_____/date_____/year (Age: _____)		Nationality	
University (school) attended before Tohoku Univ.		Date of graduation/completion: ____/month_____/year		
Enrollment history in Tohoku Univ. (in order from most recent)	Status	Period		
		From ____/month_____/year to present		
		From ____/month_____/year to ____/month_____/year		
		From ____/month_____/year to ____/month_____/year		
Residence (circle)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> University House Katahira University House Sanjo (Ⅱ・Ⅲ) International House Sanjo 1 International House Higashi-Sendai Prefectural/municipal apartment (Address: _____) Private apartment (Address: _____) </div> <div> University House Aobayama University House Nagamachi International House Sanjo 2 </div> </div>			

2. Family Information (Include family members in your home country)

*If your spouse is a student, write the name of the school, and year level.

Name	Relationship	Age	Country of Residence	Occupation and Place of Employment, or Name of School Attending
	Father			
	Mother			

*This form does not need to be submitted, if you have submitted anytime in **April 2021** or thereafter.

Scholarships Received

* Have you received any scholarships to date? YES / NO (circle)

If YES, write the details below.

Period received	Amount monthly/yearly (circle)	Name of scholarsip
<div> <div>(Month) (Year)</div> <div>to</div> <div>(Month) (Year)</div> </div>	<div> <div>yen monthly/yearly</div> </div>	
<div> <div>(Month) (Year)</div> <div>to</div> <div>(Month) (Year)</div> </div>	<div> <div>yen monthly/yearly</div> </div>	

* Please indicate below if you have not been accepted any scholarship applications within these two years.

Write the scholarship name and the year of application.

Year	Scholarship Name
Year	Scholarship Name

Tuition Waiver (Exclude a research student period)

* Circle where appropriate

2021 Academic Year	Semester 1	Full	Half	One-third	Not Approved
2020 Academic Year	Semester 1	Full	Half	One-third	Not Approved
	Semester 2	Full	Half	One-third	Not Approved
2019 Academic Year	Semester 1	Full	Half		Not Approved
	Semester 2	Full	Half		Not Approved